

別表第7の区分		13				
対象作業工程名		注入				
局所排気を行うべき物質の名称		テトラクロロエチレン				
局所排気装置の配置図及び排気系統を示す線図		局所排気装置の配置図:別紙-1に記載 排気系統を示す図面:別紙-2に記載				
フード	番号	1	2	3	4	(その他機械排気)
	型式	囲い式外付け式 (側方、下方、上方) レシーバー式	囲い式外付け式 (側方、下方、上方) レシーバー式	囲い式外付け式 (側方、下方、上方) レシーバー式	囲い式外付け式 (側方、下方、上方) レシーバー式	
	制御風速(m/s)	0.4	0.5	0.5	0.5	—
	排風量(m ³ /min)	25	4	15	4	10
	フードの形状、寸法、発散源との位置関係を示す図面	別紙図に記載				
	装置全体の圧力損失(hPa)及び計算方法	1.4695				
局所設計気値装	ファン前後の速度圧差(hPa)	0.3012	ファン前後の静圧差(hPa)		1.1683	
	設置ファン等の仕様	最大静圧(hPa)	5.00	ファン型式	タラジアーボル リミットロードル エアホイル シロッコ遠心軸流 斜 アキシア (ガイドベーン(有、無)) その他()	
	ファン静圧(hPa)	5.8993				
	排風量(m ³ /min)	69				
	回転数(rpm)	1430				
	静圧効率(%)	45				
	軸動力(kW)	1.2891				
	ファンを駆動する電動機	全閉屋外型	定格出力2.2(kW)3相 電圧200(V)	定格周波数50(Hz)	回転数1430(rmp)	
空気清浄装置	定格処理風量(m ³ /min)					
	除じん装置	前置き除じん装置の有無及び型	有(型式))無			
		主方式				
		形状及び寸法	粉じん取出方法			
		集じん容量(g/h)	粉じん落とし機械 有(自動式・手動式) 無			
排気ガス処理装置	ガス中に液を分散させる方式 ガス・液ともに分散させる方式 液中にガスを分散させる方式 吸着方式 その他()	吸着液又材は	水 水酸化ナトリウム 消石灰 アンモニア水 硫酸 活性炭 その他()	処理後の措置	再生・回収 焼却 廃棄物処理業者への委託処理 その他(排水処理)	

備考

- 1 「別表第7の区分」の欄には、当該局所排気装置に該当する別表第7の番号を記入すること。
- 2 別表第7の24の項の局所排気装置にあっては、「対象作業工程名」の欄に粉じん障害防止規則別表第2の別号区分を記入すること。
- 3 「フード」の欄には、各フードごとに番号を記入し、型式については該当するもの(外付け式のフードにあっては、吸引方向)に○を付けるとともに、所要事項を記入すること。
- 4 「設置ファン等の仕様」の欄の排風機のうち、「最大静圧」以外は、ファンの動作点の数値を記入すること。「ファン型式」の欄は、該当するものに○を付けること。
- 5 別表第7の13の項の局所排気装置にあっては、「空気清浄装置」の欄は記入を要しないこと。また、同表の14の項又は24の項の局所排気装置にあっては、「空気清浄装置」の欄のうち除じん装置の欄のみ記入すること。
- 6 「空気清浄装置」の欄のうち「排ガス処理装置」、「吸入液又は吸着剤」及び「処理後の措置」の欄は、該当するものに○を付けること。
- 7 「空気清浄装置」の欄のうち排ガス処理装置については、その図面を添付すること。
- 8 この摘要書に記載しきれない事項は、別紙に記載して添付すること。